

会 議 名	第3回港区立郷土歴史館指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年6月26日（月） 午後7時から午後9時まで
開 催 場 所	白金台区民協働スペース 会議室2
委 員 員	出席者 5名 岩淵委員長、長谷川副委員長、須賀委員、若林委員、篠崎委員
事 務 局	齊藤図書文化財課長 文化財係 山本文化財係長、川上主事、伊佐山主事
会 議 次 第	1 開会 2 第2回選考委員会議事録概要について 3 第二次審査実施概要について 4 事業候補者によるプレゼンテーション及び質疑回答 （1）A事業者（45分間） 5 第二次審査採点及び事業候補者の選考について 6 その他 7 閉会
配 付 資 料	資料1 第2回選考委員会議事録概要 資料2 第二次審査実施方法について 資料3 第二次審査採点基準表（A事業者） 資料4 追加要求資料一覧 資料5 第一次審査集計結果
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 （事務局が、配布資料及び応募状況の説明） 2 第2回選考委員会議事録概要について （資料1を用いて事務局が説明） 3 第二次審査実施概要について （資料2、3、4、5を用いて事務局が説明） 4 事業候補者によるプレゼンテーション及び質疑回答 （申請書類と追加提出資料を用いてA事業者がプレゼンテーション） それでは質疑応答を行う。管理運営体制についてご質問いただければと思う。
B委員	郷土歴史館という魅力ある施設を継続的に管理運営するスタッフに求められる専

A事業者	<p>門的なスキルをどう高めていくのか、具体的な考え方と方策をご説明ください。</p> <p>弊社は多くの公共施設の運営経験がありますので、その経験とノウハウを活用した公共施設運営の研修を実施します。それに加え、本施設が博物館であり、文化財に指定された歴史的建造物を管理運営するという特性を考慮し、博物館学に関連する研修を実施します。例えば、文化庁や日本博物館協会主催の研修等に責任者、学芸担当、事業担当職員が参加し、学芸員を取り巻くトピックス、関連法案、過去の博物館事例等の情報をアップデートしていきます。</p> <p>また、港区の施設としての活動実績について、様々な刊行物を活用した職員研修の機会を設け情報を職員間で共有し、新たに配属される職員については、本施設の建物と歴史をはじめとした、理解を深める研修を行います。本施設は文化財であるという点で、一般的な建物の管理運営とは異なります。建物を理解した上で、展示内容や、郷土歴史館としてのこれまでの実績等々を学ぶ機会を設け、人材を育てていきます。</p>
A委員	<p>もう少し具体的にお聞きしたい。例えば、文化庁主催の博物館に関する研修は様々なものがありますが、専門研修としてどのような研修を想定していますか。また、学芸担当職員については、どのようにスキルアップすることを考えていますか。</p>
A事業者	<p>弊社ではいくつかの博物館・美術館の管理運営を担っていますが、いわゆる業務分割方式の施設は少ないのが実情です。単独で運営を完結する方式では、弊社のような代表企業が全体を運営し、館長、学芸員を自前で配置します。一方の業務分割方式では、連携・支援の相手方となる学芸業務に対して、どの程度専門的に踏み込むかが難しい点です。</p> <p>単独で運営を完結する方式では、文化庁等からの通知は弊社に直接届くので、これによる必要な研修等を弊社自身で整理します。業務分割方式では、自治体経由で通知を受けるため、主体的に内容を整理・組み立てることが悩ましいところです。学芸員以外の、広報や総務担当職員に対する研修内容においても、例えば、太田記念美術館がSNSを使ったデジタル戦略により多数の来館を獲得している事例や、また別の施設では訪日外国人向けの発信などを展開する事例など、博物館運営の情報や施設としての特性等の理解が必要と考えます。学芸員以外の職員については、それぞれの職種に応じて、1年目、2年目、3年目と段階を踏んだ人材育成を想定しています。教育委員会の学芸担当職員業務との分担を考慮しながら、人材育成に取り組んでまいります。</p>
A委員	<p>人材育成においては確かに課題がありますが、教育委員会の学芸担当職員と連絡を密にとり、連携していくことが重要と考えます。</p>
A委員	<p>教育委員会とどのように役割分担するかによりますが、業務責任者の事業担当の範囲が展示分野に寄っているとお見受けします。学芸員資格もお持ちのようですが、学芸支援は展示に留まらないと考えており、担当予定者の経験やキャリアなどから計画する、学芸支援の見通しを教えてください。</p>
A事業者	<p>人員配置については、どういう能力を持った者にどの配置が適するかなど、熟考す</p>

	<p>る余地はあると考えますが、仕様に示されている展示造作等について、区の学芸業務をしっかりとサポートするという観点から、展示造作に強い学芸員を配置しました。一方で、学校からの見学受入や若年層の来館者増等については、教育普及の観点を持った職員が必要だと考えています。責任者に求める能力等については、区とも十分に共有した上で、考慮してまいります。</p>
C委員	<p>ある程度の年数経験があつてこそそのスキルアップだと思いますが、職員の配置ローテーションはどの程度の期間を想定していますか。</p>
A事業者	<p>3年から5年のジョブローテーションが適切であると考えています。博物館関係の管理運営については、施設の特性もあることから、どの程度の配置期間が適切なのか、引き続き検討したいと思います。</p>
C委員	<p>一般論として、ある程度長く携わるのが良いのは確かとみられ、その間に人材を育てていただきたいです。</p>
D委員	<p>文化政策の観点から言うと、業界全体として専門家の人材育成には多くの課題がある中で、どのように人材を採用していきますか。文化施設の人材を採用するに当たって、どういう募集の仕方をされるか、どんな人材像を示して募集されるのか教えてください。</p>
A事業者	<p>弊社が管理運営している施設は日本全国にあります。会社全体で求人をし、各地に転勤してもらうような勤務形態は採用しておらず、地域で雇用しています。地域ごとに人件費等も異なるため、転勤によるジョブローテーションは想定していません。</p> <p>また、募集に際しては、歴史的建造物で働くことをまず明確に提示しており、本施設が、公共施設かつ地域に根差した施設として地域貢献をする業務という趣旨も含めて募集をしています。施設の特性を理解した上で応募いただけるよう、業務の内容も詳細に示した上で募集しています。</p>
B委員	<p>地域間でのジョブローテーションはほとんどないということでしょうか。</p>
A事業者	<p>厳密に言えば、管理運営における業務責任者のうち3～4名はジョブローテーションで運用していますし、本施設の予定候補者には他施設で既に業務経験のある者も何名かおられますので、そういった意味ではジョブローテーションと言えます。</p>
A委員	<p>学芸員についてはどうでしょうか。</p>
A事業者	<p>学芸員は歴史考古、写真など様々な専門分野があり、一人の人材がどの施設でも活用できるとは限らないため、ジョブローテーションが難しいのが実情です。美術館・博物館間でのジョブローテーションは難しいですが、教育普及の業務等であれば多くの施設に活躍できると思います。</p>
E委員	<p>教育関係の取組について、全部の区立小学校の3年生を本施設に呼びイメージでし</p>

	<p>ようか。</p>
A事業者	<p>小学校3年生のプログラムについては全校を対象にしています。地域の小学校以外の児童にも本施設に来てもらえることを目指したいと考えております。</p>
E委員	<p>来館しない学校がある場合には、そこに何かの理由があると思いますが、どう考えますか。</p>
A事業者	<p>例えば、学校指導要領に記載されていない、担当教員が考える授業内容と齟齬があるといったこともあるかも知れません。教員と交流する機会を設けて、どういう内容を、いつ、どんなタイミングでやるのが適しているのか等の現場の声をヒアリングし、要望を吸い上げていきます。また、様々なプログラムを提案するなど、新しい選択肢も学校側の理解を得られるようになると、施設の活用が進むと考えています。</p>
E委員	<p>学校教員との交流機会のみならず、あらかじめ教育委員会と協議をし、プログラムや指導内容等を調整することは可能でしょうか。プログラムや指導案を示し、学校に周知をするといった事例はありますか。</p>
A事業者	<p>業務分割方式の施設については、学校教育における学習支援は教育委員会学芸員の分担業務となっているため、指定管理者である弊社が直接指導案を作成して学校に提案等をするのは、これまではありません。</p>
E委員	<p>今後、教育委員会が得ている現場の声を御社のプログラムに反映して練り上げるとともに、周知や集約など全般の提案業務を御社で担うことは可能でしょうか。</p>
A事業者	<p>教育委員会学芸員と協議の上、教育普及の一助となるよう取り組みたいと思います。</p>
E委員	<p>小学校3年生のみならず、4年生、6年生等についても、より詳しいプログラム等を提示いただき、他の学年も含めて本施設に来館してもらう努力をしていただけないでしょうか。</p>
A事業者	<p>まずは区立小学校3年生の全校来館を目指しますが、4年生、6年生に新しいプログラムを提案できるようになると、さらに展開が広がり来館促進につながると考えます。業務分割方式を前提に来館促進の一環としての取組だけを実施するのと、教育普及の部分にまで踏み込んで実施するのでは、業務の性質が異なることから、教育委員会としっかり連携をとり、取り組んでいきたいと思っています。</p>
D委員	<p>危機管理の取組について、簡単で構いませんので、問題が発生した際にはそれをどのように公表するか、お聞きします。</p>
A事業者	<p>ホームページで発表します。危機管理への対応においては、問題発生時に責任者まで。速やかに情報が伝達されることが一番の重要な点であることから、このフロー</p>

B委員	<p>が回るようマニュアル整備の上、日々改善して取り組んでいます。</p> <p>この施設独自のアレンジはあるか。</p>
A事業者	<p>公共施設の場合は、自治体のマニュアルをベースに作成しています。今後は、文化財や複合施設としてのマニュアルの必要性を感じており、複合施設としての各施設との連携も重要です。各施設のマニュアルを踏まえ、全体を把握できる内容とし、建物の特性を捉えた避難等など、今まで以上に内容の向上を図りたいと考えています。</p> <p>(質疑終了)</p>
委員長	<p>以上でプレゼンテーションを終了します。ありがとうございました。</p> <p>5 第二次審査採点及び事業候補者の選定について (委員による審査・採点) (事務局から採点の集計結果説明)</p>
委員長	<p>では、委員の採点結果が大きく異なる点等を踏まえ、講評についてご説明をお願いします。</p>
D委員	<p>事業計画の実現性や取組内容について、職員の配置について期待している応答がなかったこと、学校連携の取組について具体的な回答が出てこなかった印象でしたので、低く採点しました。安全対策や危機管理体制について、必要な対応を網羅しており、適切に対応できると考えます。業務分割方式を前向きに捉え、意欲的なスタッフを採用し、事業者としての強みを活かした提案を引き続き期待します。</p>
A委員	<p>専門人材の配置や職員の研修等については検討すべき課題もありますが、目指す方向性としては適切だと考えます。</p>
B委員	<p>職員研修の必要性を理解しており、接遇や安全対策をはじめとした研修メニューがしっかりと提示されています。職員の配置をはじめとした施設の方向性についても、適切であると考えます。人材育成は、さらなる工夫を求め、施設の更なる魅力向上に是非つなげて欲しいです。事業提案についても、区民などが身近に触れ、その文化財価値が社会により広く理解され、港区の歴史と文化に愛着をもつための事業展開が期待できます。教育委員会と連携を含め、更なる意欲のある取組を期待します。</p> <p>本施設の特有の話ですが、教育委員会と指定管理者との業務分担の難しさがあります。両者がしっかりとした役割分担のもとで分業し、連携を深めれば、プラスに機能し課題解決につながると思います。</p>
A委員	<p>博物館は業務分割方式を採用しているが多いと思います。特異な例ですが、過去には収蔵庫管理だけを事業者が担う例もありました。広報普及や教育部分の事業関係を事業者が担い、展示は自治体が直接担うという分担が多いです。</p> <p>歴史的建造物としての本施設の管理や活用の考え方は、具体的に内容もあり評価し</p>

C委員	<p>ました。学校の先生向けのプログラムが提案されるなど、学校を巻き込んだ施設の利用促進策は評価できます。</p> <p>地域に根差した施設とする姿勢が明確であり、ミュージアムショップをはじめとした本施設の活用に関する具体的かつ実現可能な提案がなされており、評価できます。管理運営実績も豊富であり、安定した管理運営が可能と考えます。教育委員会との業務分担など、事業展開に向けて事業者も難しい部分もありますが、そのような中でも熱意や意欲をもって施設の魅力向上に取り組んでいただきたいです。</p>
E委員	<p>利用の安全安心を確保した安定した施設運営が可能と考えます。区内小学校の児童に対するプログラムの提案など、若年層への施設利用促進に関する具体的提案がなされている点は評価できます。教育現場の声を取り込んだプログラムとするなど、教育委員会と十分に連携し取り組んでいただくことを期待します。</p>
委員長	<p>各委員からの講評は以上です。採点結果について確定しますが、よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
委員長	<p>それでは一次審査、二次審査いずれも満点の6割を超えたことから、本選考委員会としてA事業者を指定管理者候補者として選考します。指定管理者と指定され業務を担う場合、職員研修等の更なる充実や教育委員会と連絡・連携を密に取ることで、より良い施設運営を進められることを期待します。</p> <p>5 今後のスケジュール (事務局から説明)</p> <p>6 閉会</p>
委員長	<p>以上で、第3回港区立郷土歴史館指定管理者候補者選考委員会を閉会します。</p>

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。